

## 上田城南地域協議会会議録

日時 平成 18年 12月 21日（木）午前 10時から午前 11時 55分

場所 上田市城南公民館 2階大ホール

出席委員 石井委員、石黒委員、石坂委員、岡部委員、掛川委員、木内委員、酒井委員、竹内順一委員、竹内秀夫委員、竹田委員、田中明委員、田中千寿子委員、中島委員、中村委員、西川善和委員、増田委員、丸山委員、宮崎委員

市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査  
山田政策企画課主任

### 1 開会（原沢自治振興課長）

### 2 あいさつ（田中明会長）

本日は総合計画の諮問が予定されている。本格的な議論が始まるわけであるが、城南地域のまちづくりについて、活発なご議論をお願いしたい。

### 3 会議事項

#### （ 1 ） 諮問

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

（田中会長）

それでは会議事項に入ります。総合計画「地域まちづくり方針」について、事務局から説明をお願いします。

（原沢自治振興課長）

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について、小林上田地域自治センター長から田中会長へ諮問を行います。

〔小林センター長から田中会長へ諮問書が提出される〕

（原沢自治振興課長）

諮問の内容につきまして、担当課から説明をさせていただきます。

「 1 第一次上田市総合計画地域まちづくり方針について」

「 2 総合計画の策定方針について」

政策企画課山田主任から説明

(田中会長)

ただいまの事務局説明の中でご質問等ありましたらお出してください。

(委員)

地域まちづくり方針の項目数を 7項目以内に絞り込みとあるが、最初から 7項目と決めつけないで、当面は 7項目を目標に絞り込んでいくというスタンスで進めていったほうがよいと思う。

(原沢自治振興課長)

各地域協議会のバランスを考え 7項目以内とさせていただいた。多くの意見を出していただく中で、最終的には 7項目程度にまとめていただければと考えているのでよろしくをお願いしたい。

(田中会長)

次に協議に入ります。地域まちづくり方針の意見提出シートについて、各委員からご発言をお願いいたします。

(委員)

案として出された 3項目について、例えばグループごとに検討するところから始めればよいと思う。

(原沢自治振興課長)

事前にお送りしたシートのたたき台 3項目を中心にご意見をいただき、それを事務局で持ち帰り、次回素案をお示ししていくことを考えております。ただいまの委員さんのご発言で、グループごとに集中的に議論し、発表いただいたものをもとに、次回までに素案をまとめるというご提案ではありますが、委員さんがその方がいいということであれば、そのようにしていただいても構いません。

(田中会長)

先程の意見についてどうでしょうか。

(委員)

たたき台の項目を分けて、グループごとに検討していくということか。

(委員)

たたき台の 3つめの「国道 143号の整備と安全対策」であるが、個々の道路事情により道路だけで意見が何十項目も出てしまう。せっかく 3項目のたたき台を示してもらったので、そこから議論を始めていくのが近道だと考える。

項目を考えてきてくれといっても、地域事情がある中で委員個人の気持ちが出てしまう。それを考えるなら、項目が出てくる前に方向性がある、その方向性についてどういう考えでこの地域を考えるかということ、根っこにあるテーマが出てくる、そのテーマをどこに決めたとなると、話が複雑になって大変だから、とりあえずたたき台の 3項目を検討することによって、そういった関連が見えてくるし、議論が深まるのかなと感じている。

(委員)

それぞれの地区に暮らしていると、その地域のことしか見えない。

委員が考える意見と本日の諮問の説明資料と意見提出シートがどのように位置づけられているのかまずお聞きしたい。

(小林上田地域自治センター長)

地域協議会に総合計画の諮問をするということが、行政側として初めてのことである。今日のところは、自由に意見をお出しいただきたい。

総合計画そのものが外面的で、個々の具体的な事業を掲載するというものではない。

事務局では、各委員さんの具体的な意見も視野に入れております。そういった意見も織り込んで整理をさせていただきまとめたものを次回の協議会でご審議いただきたい。

検討方法については、全体で進めていただいてもいいし、先程意見が出されたように項目ごとにグループで検討いただいてもどちらでもよいと思う。

(委員)

たたき台 3項目については、それぞれ個人で考えていることもあるだろうから、グループで話し合う方が効率的に進められる。

たたき台以外の各委員が提案したい項目については、全体会で意見交換したほうがよいのではないか。

(委員)

一般論で話を進めても地域づくりにならない。最初の作業はそれぞれの人やりたいこと、こういうまちにしたいということを全部洗い出すことである。私も 7項目ほど提案項目を考えてきており、各委員からそういうものを出さないとスタートにならない。

(田中会長)

私はこう考えている、こうあるべきだといった意見を各委員からお出しいただきたい。

(委員)

保育園の合併と子育て環境の充実を挙げたい。泉田保育園と小泉保育園を合併するというので、予定地の買収は 10年以上前に済んでいる。園長は兼務となっている。

去る 11月 12日に城南地区育成会議の折に、川辺小学校の児童が遊び場が欲しいという意見が出されました。両保育園が合併して空いた土地を児童館や地域の子育て支援センターにすればいいのではないかと思います。

もう一点は総合病院の誘致である。左岸に集中の医療サービスが受けられる総合病院があると安心して暮らすことができる。

(委員)

城南地域は中心市街地の入り口に位置しているため、城南地域だけがよくなればよいということではなく、中心市街地とともに発展していければよいと思う。

(委員)

城南地域には、歴史的な史跡、自然を生かした公園等いいところがあるので、駐車場を整備して、市外の方にも気軽に立ち寄っていただき、賑やかなまちにしていければよいと思う。

(委員)

城南公民館を新築して、地域の発展を進める。道と川の駅については、地域がどのように関わっていくのか、運営等も含めて詰めていく必要がある。国道 143号については、現在川西のゴミ焼却場が話題となっているが、建設するとなると一日 300 台の運搬車が通行することになる。JA 泉田支所から上田原までの歩道の整備を進めていく必要がある。

(委員)

左岸地域に総合病院を建てるのと同時に特養の施設を併設していただきたい。特養の施設が非常に不足している。

高齢化により遊休荒廃地が増えていく。市で行っている活性化は是非継続させて欲しい。特に行政で実施してほしいこととして、減反を実施しない人から負担金をもらい、シルバー人材センターにお願いして荒廃地を解消していったらどうかと考える。

(委員)

左岸の病院誘致に力を入れていく。城南公民館の整備を計画的に進めていく。

(委員)

高齢者、障害者の住みやすい地域づくりを進めていく。特養ほど大きな施設でなくても、宅老所、広域ケアホームのような施設を増設する。

環境と自然、放っておけば自然破壊が進んでいくから環境保全という観点から、里山の再生に取り組む。

児童館の整備充実に取り組んでいく必要がある。

(委員)

県道 77号三好町交差点拡張については、かなりの事業費が必要になるのではないか。

国道 143号の歩道と車道の段差が多い。自転車で歩道を通行するのは困難であるため、それを解消するための整備を重点項目の一つとして進める。

諏訪形グラウンドの北側は緑地化を進めるということで市の構想の中に入っているが、南側についても構想に入れていく。

地域内の児童館整備を進める。

(委員)

婦人科、人間ドックが受け入れられる総合病院の誘致等を進める。

道路の美化を進める。イチョウの葉は枯れないので、自転車の通行に支障がある。植える木の選択、管理体制も考え、美化を進めていく。

(委員)

城南公民館の整備充実を図っていく。

国道 143号については、上田橋の半日の交通量が、平成 11年は 17,500台だったのが、平成 17年は 11,500台と 6年間で 6000台減少している。JT 跡地の利用、イトーヨーカ堂等も考慮しながら、143号の整備を進める必要がある。

別所線存続のために、地域としても考えていく必要がある。

(委員)

別所線の利用促進のためにも、城下、神畑間の各駅周辺の整備を進める。

子どもたちが安心して遊べる場所づくりを進める。遊休地を地権者から借りて、遊び場に提供していくことも検討したらどうか。

(委員)

自然豊かとはいうが、城南地域で自然豊かな場所は限られている。将来子どもたちに残していく。

子どもたちの治安対策をしっかりと進める。

(委員)

7項目提案したい。小牧山から東山へかけての景観保全、岩鼻の景観保全については、先程委員から出されてところである。以下 5項目についてお願いしたい。

千曲川の景観保全である。千曲川のすばらしい景観を次世代に残すために、千曲川沿いに中高層の建物や電飾看板など目立つ看板が立たないように規制していく必要がある。

産川、浦野川の河川整備と景観形成である。子どもたちがもっと川で遊べるよう、水質をきれいに保つという重要性を学ぶためにも、できるところから自然改修による河川整備を行って、その周辺を親水空間として整備していく必要があるのではないかと考えている。

白地地区内の農地の保護である。安全でおいしい食の確保や地産地消のために白地地区内の農地の宅地を規制していく必要があるのではないかと考える。近年上田大橋から東山リサーチパークへぬける道路沿いに、郊外型大型店が続々出店しているが、市はコンパクトシティを目指しており、その方向性と逆行している。規制をしっかりとっていくべきである。

住居地域内の住宅地の良好な住環境の形成である。都市計画図の中で、城南地域の用途地域は住居地域であり、良好な住環境の形成が望まれる地域である。ミニ開発や周辺景観に合わない色彩、形状の住宅、地震時に倒壊の危険があるブロック塀

などは規制、誘導していく必要がある。

歴史的資源の保全についてである。倉沢家住宅、蚕室づくりの民家を保全し活用していく必要がある。それらは城南地域の歴史を語るうえでも非常に貴重な建物であるので、失われてしまう前に保存できるような方策を考えていく。個人の持ちものであるが、改修のための費用の一部を市が助成していく制度を創設する必要がある。

(委員)

地域づくり活動拠点整備の中で、地域コミュニティの場所として、いつでもだれでも使える場所を確保する。集える場所として、市営住宅の空家を整備し有効利用を図る。子育て支援のための高齢者の人的活用を図っていく。

道と川の駅については、あまり賛成の立場ではない。千曲川の自然環境と広場を活用した野外体験活動ができる場所として整備を進めれば、子どもから大人までが集える場所になると思う。

国道143号の整備については、歩道の整備はもちろんであるが、ハナミズキ等季節を感じる花を植えたり、ミニ花壇を設置し心が和む道路整備を図っていく必要がある。子育て中のお母さんが集えるとして、所々にミニパークがあるといいと思う。落ち葉の掃除など木の管理については、自分の家の前くらいは管理するという気持ちを持つことが大切だと思う。

(委員)

現状把握、調査研究により大きな課題、問題点が見えてくる。課題等を整理する時のアイデアは何かを考える。その中から地域のもつテーマは何か、ハード、ソフト両面から考えることから方向性が出てくる。方向性から考え方が出てきて、項目が導き出される。その項目の中に具体的施策がある。

以上の手順により、項目を導き出し、その中で具体的施策を考えていくことが必要である。

(委員)

城南公民館については、地域の拠点として新築してもらおうよう自治連から市へ要望している。

川の駅については、採算がとれるのか。多くの方々に寄っていただける観光を含めた売りものはあるのか。

143号の整備については、関係方面へ自治連から要望している。J T跡地にスーパー、公共施設等ができれば交通量が増加するので、拡幅改良が必要である。

左岸の総合病院の誘致である。左岸には病院が少ない。3万人の署名をいただいた。左岸の自治連で、市、厚生連等関係方面へ要望活動を行った。

〔休憩 5分間〕

(田中会長)

全委員からご意見をいただいた。意見については、次回の協議会までに事務局で整理してもらい、その後協議会としての議論の方向性を整理していくことになる。7項目を目安に進めていくことになるが、その点についてはご承知いただきたい。

総合計画の中に、協議会としての意見をしっかり載せてもらわなければならない。より可能性のあるもので、優先順位があるならば、地域のものが大事に扱われる形で反映させていきたいとも思う。

(原沢自治振興課長)

本日いただいたご意見については、次回までに7項目程度に整理するので、まとめたものを次回協議願いたい。検討方法については、先程グループごとに議論するという案も出ておりましたので、そのような形で進めていただいても結構である。

今回答申いただく地域まちづくり方針は、総合計画の一部となるものであり、各協議会の答申内容を総合計画審議会へ送り、計画本体との調整を図ったうえで、最終的に市長へ審議会から答申するという手順になるので、ご了解願いたい。

(田中会長)

次回の協議会でグループごとに検討を進めるにあたって、事務局で今日の意見を整理すると同時に班編成も考えていただけるということでよろしいか。

(委員)

例えば4項目を分けて5人ずつグループで検討するとすると、与えられた項目以外については発言できなくなる。5人ごとのグループで、同じ4項目について検討を進めていくことでどうか。

(委員)

項目ごとにグループ分けをするのは無理である。20人の中で7つか8つの項目を分けても議論にならない。

5人ずつのグループにして、複数あるいは全項目を議論するという方法なら考えられる。

(委員)

たたき台3項目以外の部分で、各委員から出された意見の中でどの意見ををとり上げていくのか、その意見は無理ではないか、といった議論はいつ行うのか。

たたき台の項目をグループごとに検討していき、そこで出た意見を整理していくことはいいと思うが、たたき台以外で委員から出された意見はどう集約し、まとめていくのか、ここではっきりさせておいた方がいいと思う。

(委員)

本日各委員が出した意見は、事務局でグルーピングしてまとめていただけると思うので、出された意見は必ずいずれかの項目にはまとめられていくはずである。

(原沢自治振興課長)

7つ程度の項目に整理させていただく。各委員さんの意見は、細かい項目に入るかはわ

からないが、大項目の中には入るように整理します。

( 2 ) その他

- ・〔仮称〕上田市地域協議会連絡会議の設置について  
事務局（小宮山自治振興課課長補佐）から説明  
各地域協議会の正副会長で構成（9協議会、18名）
  
- ・会議録について  
（委員）  
市のホームページに地域協議会の会議録が掲載されているが、どの委員が発言したかについては記載されていない。今後作成するものについては、委員名を明記してもらいたい。  
（原沢自治振興課長）  
第1回の各地域協議会の中で、会議録の委員名の掲載についてお諮りしたところであるが、発言が消極的になってしまう等の意見が多かったために、会議録には委員名を掲載していない。  
今後、〔仮称〕上田市地域協議会連絡会議に諮っていきたいと考えている。
  
- ・次回の開催日程について  
1月15日（月）午前10時から〔城南公民館2階大ホール〕